

令和4年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立 貴志小 学校
作成日	令和 5年 3月 15日

1 教育目標

自ら考え、正しく判断し、進んで実践する力を身に着けた人間性豊かな貴志の子供の育成をめざす

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査で県平均正答率を上回る ・授業がわかる (児童アンケート 80%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい (児童アンケート 80%) ・いじめ解消 (児童アンケート100%) ・図書の本を借りる (児童アンケート100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動に取り組んだ (教師アンケート80%) ・朝ご飯を食べた (児童アンケート100%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子が伝わった (保護者アンケート90%) ・地域の方をゲストティチャーとして招いた授業を行った。(教師75%) ・拡大現教を行い授業の交流を行った。
重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着は大切である。引き続き目標としてほしい。 ・家庭学習も大切であるので、目標に入れ、家庭との連携をより強固なものにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめはあるという前提に立って、何かあれば子供と共に考える姿勢を持ってほしい。 ・自己肯定感を育み、子供の気持ちを尊重する目標をお願いしたい。 ・本は読解力・考察力を高めるので、是非来年度も重点的に取り組んでほしい。 ・道徳は家でも教えるが、学校でも力をいれ、「豊かな心の育成」を目指すのは良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい目標設定だと思う。 ・早寝・早起き・朝ご飯と言った基本的な習慣は大切なので、来年度も取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は適切だと思う。 ・コロナ禍ではあったが、様々な交流を模索したのは素晴らしい。 ・学校・地域・家庭は三位一体であるので、来年度も連携を密に、地域の方との交流を模索してほしい。
取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に話し合いを取り入れているのはいいことだと思う。 ・相手を尊重するような指導もお願いしたい。 ・児童主体の授業をめざし、色々模索してほしい。 ・80%が勉強がわかるとなっているので、先生方の指導力が高いとわかる。 ・できる限り個に合わせた授業を工夫してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳・人権学習の充実や、挨拶運動により、心の育成につながっていると感じる。 ・みんなで取組めることを決め、活動したり遊んだりする中で、一体感が生まれ、達成感を感じるのではないかとと思う。 ・挨拶運動や、うちどくの習慣は引き続き継続してほしい。 ・読書の習慣は引き続き力を入れて実践してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝早起き朝ご飯は大人にとっても大切な習慣であるので身に付けてほしい。 ・休憩に外遊びをすることで気分転換が出来、授業に集中することができると思う。 ・体力向上の取組は大切なので引き続き取り組んでほしい。 ・避難訓練は危機回避能力が育ってよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で、地域の方とのふれあいは子供の思い出にもなる。 ・児童の見守りについては高齢者が多く、存続に不安を感じられている方が多い。 ・各地区の取組状況を交流し、よりよい日常活動を培っていききたい。
取組の適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の勉強がわかると回答している児童が多く、いい結果になっている。 ・タブレットを子供たちが使いこなすことができている。 ・辞書等アナログの対応も必要である。 ・学校と家庭が協力することが必要である。 ・20%が勉強がわからないということになる。わからない児童には、B14家庭と協力し学力向上に努めてほしい。 ・勉強がわかる80%なので、先生の指導力が高いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しいが70%ではあるが楽しくないと言っている30%にも目を向け取り組んでほしい。 ・挨拶運動が定着しているのは良いことだと思う。 ・先生も仲良く、挨拶を心掛けてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年になるとゲームやスマホの時間が増える。上手なつきあい方を考える必要がある。 ・避難訓練を色々な場面を想定して行っているのは大事なことだと思う。 ・早寝・早起き・朝ご飯の取組は大事にしてほしい。また、ゲーム等の遊びだけでなく、外遊びも行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより等での学校活動の発信はよいが、よりよい発信の仕方を探る必要がある。 ・ホームページをもっと充実してはどうかと思う。 ・コロナ禍で制約が多い中交流ができていていいと思う。 ・老人クラブでは「絆ニュース」を発行して通学路の点検を会員だけでなく保護者のも呼びかけて、安全な道づくりのために取り組み中である。取組を行うためにも人材の確保が課題である。
改善年度法に	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間の確保は難しい面があるが、工夫して進めてほしい。 ・ICT等は必要だと思うので、取り入れつつ、今までの授業も大切にしていってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心の育成は学力よりも大切ではないか。来年も取り組んでほしい。 ・様々な経験をさせてほしい。 ・いじめは発見が難しいが、アンケートや教育委員会との連携等で取り組みを進めてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の教育は学校だけでなく保護者との連携が大切である。 ・基本的な生活習慣は家庭の力が必要である。特に、早寝早起き・朝ご飯は大切なので、保護者に発信し続けてほしい。 ・マラソン大会や水泳大会等子供たちに目標をもたせる取組も大切だと思う。 ・給食は大勢の力が結集し食べることができることを伝えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが収まれば地域の方との交流もできるようになる。 ・できる範囲で交流の機会を増やしてほしい。 ・学校への理解を広めるには、日曜参観等を行い、地域へ、仕事をしている保護者へ発信していく必要があるのではないか。大人がお互いを理解する活動が必要だと思う。

3 その他のご意見

- ・たくさん制約のある中、色々工夫し、アンケート等では学校が楽しいと感じている児童が多いのは先生の努力の賜物だと思う。
- ・高学年になれば学校が楽しい等の割合が減る。学校が楽しいという感情は基礎学力が大きいと関係が深いと思うので基礎学力の定着に一層の努力をお願いしたい。
- ・各重点目標・具体的な取組について、要点を押さえており、評価できる。
- ・子供たちの心の成長のため、SDGSやジェンダー、CAP等の取組にも力を入れてほしい。
- ・登下校の様子から、子供たちの明るい眼差しが伝わってくる。ギブス姿のお年寄りに、さりげなく声をかける子供がいて、思いやりのある言葉に嬉しくなった。